エネルギー価格の動向

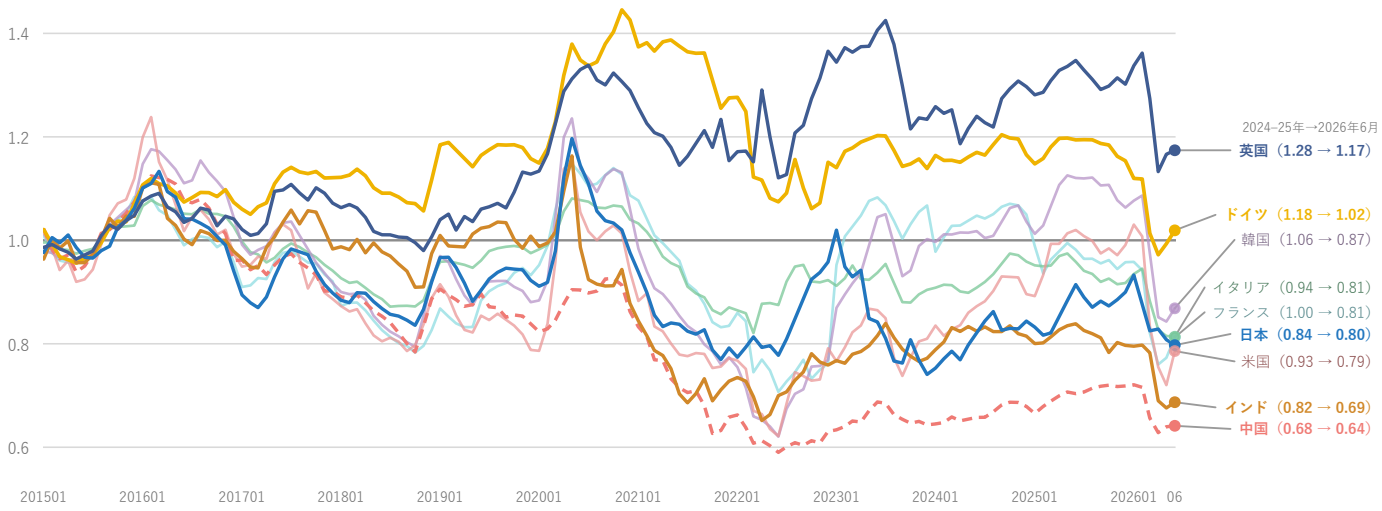
電力の相対価格に広がる国際差

主要国では、最終エネルギー消費における電力と非電力エネルギーの相対価格が2015年以降大きく分岐している。2024–25年平均の電力相対価格指数（2015年平均＝1）は、英国1.28、ドイツ1.18と上昇した一方、中国では0.68、インド0.82、日本0.84まで低下した。こうした差は、電力と非電力の選択をめぐる価格シグナルが国によって大きく異なることを示している。2026年6月には多くの国でさらに低下したが、これはホルムズ危機発生後の石油製品を中心とする非電力エネルギー価格の上昇を反映している。

野村浩二・稲場翔（慶應義塾大学産業研究所） 2026年9月15日

電力の相対価格は英独で上昇、中印・日本で低下

2015年1月–2026年6月の電力価格指数／非電力価格指数



単位：指数（2015年平均値＝1）。出典：ECM Database 202608。

注： 電力相対価格指数は、最終エネルギー消費における電力価格指数を非電力価格指数で除したもの。電力価格は、事業用電力と自家発を含み、消費主体別の構成を反映して集計したトランスログ価格指数。非電力価格は、電力を除く最終エネルギー消費の価格を、各国のエネルギー種×消費主体別の消費構成を反映して集計したトランスログ価格指数。括弧内は2024–25年平均値と2026年6月値。エネルギー価格には税金および補助金を反映する。

エネルギーモニター | EM2605 慶應義塾大学産業研究所

エネルギーモニターについて

エネルギーモニター（Energy Monitor: EM）は、主要国のエネルギーコスト・需給および産業の動向を紹介するニュースレターです。分析は、エネルギーコスト・モニタリング（Energy Cost Monitoring: ECM）が毎月公表するECM Database、およびその基礎資料となる国内外の公的統計に基づきます。掲載する各指標は、基礎データの更新・拡充や推計方法の改善に伴い、今後改訂される場合があります。

リンク

エネルギーモニター

ECM Japan

ECM Dashboard

エネルギーモニターのバックナンバーおよびニュースレター配信の登録は専用サイト、ECM各種指標の国内動向はECM Japan、国際比較はECM Dashboardをご覧ください。